

3-2-2 基本計画（機材計画）

要請機材に係る現地協議結果を踏まえ、機材計画を以下のとおりとりまとめた。計画機材の概要、配置場所は表 3-4 のとおりである。また、要請内容の詳細検討結果は表 3-5 に示すとおりである。

表 3-4 計画機材の概要 (1/2)

Code	No.	機材分類	設置場所/所管部署	目的・用途	備考
A		多目的講堂用機材			
	1	舞台照明装置	旧講堂(共用)	講義(表現芸術)、公演	
	2	プレゼンテーション(講義)機材	旧講堂(共用)	プレゼンテーション、講義	K2に含む(共用)
B		新図書館用家具・機材			
	1	書架、読書机、椅子	新図書館(1, 2階)	共用サービス	
	2	事務用家具等	—	共用サービス	対象外
	3	コンピュータ	新図書館(1階)	共用サービス	
	4	事務サービス機器	新図書館(1階)	共用サービス	
	5	視聴覚ラウンジ用機器	新図書館(2階)	共用サービス	
	6	セキュリティ機材(出入り口)	—	共用サービス	対象外
C		AVセクション用機材			
	1	ビデオ撮影機材(教育用)	AV貸出室(旧図書館)	実習(教育工学)	C3に含む(共用)
	2	ハルニアビデオ編集・DTP機材(教育用)	AV貸出室(旧図書館)	実習(教育工学)	C4に含む(共用)
	3	ビデオ撮影機材(AVセクション用)	AV貸出室(旧図書館)	教材作成	
	4	ハルニアビデオ編集・DTP機材(AVセクション用)	AV貸出室(旧図書館)	教材作成	
	5	工具・測定器等	AV修理部	機材管理	旧食肉工場改修
	6	共用視聴覚機材	教室	教材作成	
	7	教育番組録画・配信機材	AV貸出室(旧図書館)	教材作成	
D		印刷セクション用機材	新印刷所	教材等作成	旧食肉工場改修
E		語学教室用機材	LL室(語学・文学科)	実習(語学)	
F		教育工学教室用機材	カリキュラム・教育学科	実習(教育工学)	
G		コンピュータ実習室用機材			
	1	新コンピュータ自習室(女子用)	数学・コンピュータ学科	実習(コンピュータ)	
	2	コンピュータ教室	数学・コンピュータ学科	実習(コンピュータ)	対象外
	3	男子コンピュータ自習室	数学・コンピュータ学科	実習(コンピュータ)	対象外
	4	女子コンピュータ自習室	数学・コンピュータ学科	実習(コンピュータ)	対象外
	5	IT室	IT室(新図書館)	ネットワーク管理	
H		表現芸術用機材(音楽)			
	1	楽器	音楽室	実習(音楽)	
	2	作曲機材	音楽室	実習(音楽)	
	3	教育実習	AV貸出室(旧図書館)	実習(音楽)	共用機材を使用
I		農業教育用機材			
	1	ラボ用理化学機器	新農業ラボ(旧図書館)	実習(共用)	
	2	土壌・栽培用機器	新農業ラボ(旧図書館)	実習(土壌・栽培)	
	3	ラボ用ガラス器具	—	実習(共用)	対象外
	4	ラボ用消耗品(試薬)	—	実習(共用)	対象外
	5	講義・実習演示機材	AV貸出室(旧図書館)	実習(共用)	共用機材を使用
	6	モデル農場用機材	新農場	実習(圃場・飼育)	整地、造成
J		理科教育用機材			
	1	計測機器	化学・生物ラボ	理科実習(共用)	
	2	分析装置	化学・生物ラボ	理科実習(共用)	
	3	クロマトグラフィ・電気泳動装置	化学・生物ラボ	理科実習(共用)	
	4	一般共用機器	化学・生物ラボ	理科実習(共用)	
	5	共用安全用具	化学・生物ラボ	理科実習(共用)	
	6	化学分析装置(化学・農業用)	化学・農業ラボ	実習(化学・農業)	
	7	解剖機器(生物・農業用)	生物・農業ラボ	実習(化学・農業)	
	8	顕微鏡・光学機器(生物・農業用)	生物・農業ラボ	実習(化学・農業)	
	9	微生物・組織培養用機材(生物用)	生物ラボ	実習(生物)	
	10	学習教材(生物・農業用)	生物・農業ラボ	実習(生物・農業)	
	11	生物模型	生物ラボ	実習(生物)	
	12	化学模型(分子構造模型)	化学ラボ	実習(化学)	
	13	一般機器	AV貸出室(旧図書館)	理科実習(共用)	共用機材を使用
	14	ガラス器具(生物・農業)	—	実習(生物・農業)	対象外
	15	ガラス器具(一般)	—	理科実習(共用)	対象外
	16	組織培養消耗品	—	実習(生物)	対象外
	17	一般消耗品	—	理科実習(共用)	対象外

表 3-4 計画機材の概要 (2/2)

Code	No.	機材分類	設置場所/所管部署	目的・用途	備考
K		その他教室用機材			
	1	新教室用AV機器	旧図書館	講義(共用)	
	2	講堂用AV・照明機器	旧講堂	講義(共用)	
	3	学科教室用AV機材	4学科	講義(共用)	
	4	倫理学習センター用AV機器	倫理学習センター	講義	
L		設計・技術用機材			
	1	金属加工実習機材	設計技術実習室	実習(金属加工)	
	2	木工実習機材	設計技術実習室	実習(木工)	
M		家政科用機材			
	1	服飾実習室用機材	服飾実習室	実習(服飾)	
	2	調理実習室用機材	調理実習室	実習(調理)	
N		技術教育用機材			
	1	旋盤工・フライス盤工用機材	技術・職業教育実習室	実習(ワークショップ)	
	2	配管工用機材	技術・職業教育実習室	実習(ワークショップ)	
	3	木材加工用機材	技術・職業教育実習室	実習(ワークショップ)	
	4	金属加工・溶接工用機材	技術・職業教育実習室	実習(ワークショップ)	
	5	自動車整備工用機材	技術・職業教育実習室	実習(ワークショップ)	
	6	機械工用機材	技術・職業教育実習室	実習(ワークショップ)	
O		事務用機材			
	1	社会科学・商学科用機材	—	—	対象外
	2	語学・文学科用機材	—	—	対象外
	3	倫理学習センター用機材	—	—	対象外
	4	教員教育PNGジャーナル用機材	—	—	対象外
P		その他機材			
	1	予備電源	共用設備	停電対策	

表3-5 機材検計表

番号	機材名	数量	単位	コース名	既存機材の現状評価			要請機材の分類			使用目的	必要性	妥当性	判定	計画数量			検討内容
					A	B	C	A	B	C					A	B	C	
1	1. 新設目的調査																	
1.1	照明パトロン	1	式	HEXA011 表現芸術 I、他15						1	○	×	○	1			基本的には動機スタジオ専用設備であり、授業に利用できないことは無いが、必要度は低い。	
1.2	ピアノコンベックススポットライト	12	台	HEXA011 表現芸術 I、他15						12	○	○	○	12			表現芸術における照明効果は必須の学習項目であるので整備するが運搬型を旧講堂に設置し共用とする。	
1.3	フルネルススポットライト	36	台	HEXA011 表現芸術 I、他15						36	○	○	○	36			同上	
1.4	フロアースポットライト	3	台	HEXA011 表現芸術 I、他15						3	○	○	○	3			同上	
1.5	ランプ	100	個	HEXA011 表現芸術 I、他15						100	○	○	○	100			表現芸術における照明効果は必須の学習項目であるので整備するが運搬型を旧講堂に設置し共用とする。その際機材の交換部品として整備する。	
1.6	リモコンスポットライト	1	式	HEXA011 表現芸術 I、他15						1	×	×	×	1			基本的には動機スタジオ専用設備であり、授業に利用できないことは無いが、必要度は低い。	
1.7	カラーフィルター	100	個	HEXA011 表現芸術 I、他15						100	○	○	○	100			表現芸術における照明効果は必須の学習項目であるので整備するが運搬型を旧講堂に設置し共用とする。その際機材の付属品として整備する。	
1.8	コード、ケーブル、スタンド、その他	1	式	HEXA011 表現芸術 I、他15						1	○	○	○	1			表現芸術における照明効果は必須の学習項目であるので整備するが運搬型を旧講堂に設置し共用とする。その際必要なコード、ケーブルなどを整備する。	
1.9	調光器	1	台	HEXA011 表現芸術 I、他15						1	○	○	○	1			表現芸術における照明効果は必須の学習項目であるので整備するが運搬型を旧講堂に設置し共用とする。	
1.10	端子台	1	台	HEXA011 表現芸術 I、他15						1	○	○	○	1			同上	
1.11	調光制御盤	1	台	HEXA011 表現芸術 I、他15						1	○	○	○	1			同上	
1.12	挿入付け器具	1	式	HEXA011 表現芸術 I、他15						1	○	○	○	1			運搬型に必要な工具を整備する。	
2	2. プレゼンテーション・講義用機材																	
2.1	電子ボード	1	台	EPG320 指針の紹介と相談、他2コース及び学術会議 / セミナー						1	○	×	×	1			講堂にて利用する機材としては不相当である。	
2.2	実体プロジェクター	1	台	EPG320 指針の紹介と相談、他2コース及び学術会議 / セミナー						1	○	○	○	1			使用頻度が低いので「その他教養用機材」と共用とする。	
2.3	コンピュータ	1	台	EPG320 指針の紹介と相談、他2コース及び学術会議 / セミナー						1	○	○	○	1			同上	
2.4	実体プロジェクター用テーブル	1	台	EPG320 指針の紹介と相談、他2コース及び学術会議 / セミナー						1	○	×	×	1			相手国側が用意する	
2.5	ワイヤレスマイクフォン	1	式	EPG320 指針の紹介と相談、他2コース及び学術会議 / セミナー						1	○	×	×	1			既存の設備で代用可能	
3	3. 新設調査																	
1.1	1.1 講義用椅子																	
1.11	講義用椅子	44	台							44	○	○	○	44			学生の教養に裨益効果が期待できるので整備する。1階、2階を合わせ、約40,000冊の蔵書を納める書架として、木口を1冊平均2cm、4段(書架で6段)、幅800mmで計算すると、約10台必要となる。1階には、設置計画を考慮して40台を計画する。今後5年間に蔵書の増加を見て7%程度であるので、計画の増架で十分対応可能である。	
1.12	読書机	13	台							13	○	○	○	21			学生他教職員1,500人が1週間に4時間利用するとして、1週間(30時間)で常時200人が図書室を利用する。200席程度が基本として考えられる。入居の利を考えると34台が必要となる。1割の余裕を考慮して全体を88台とし、設置計画を考慮して1階に21台を計画する。	
1.13	椅子	104	台							104	○	○	○	126			1. 12読書机の配置に基づいて椅子126台を計画する。	
1.21	講義用椅子	44	台							44	○	○	○	30			1. 11講義用椅子の配置に基づいて30台を計画する。	
1.22	読書机	26	台							26	○	○	○	17			1. 12の読書机の配置計画に基づいて17台を計画する。	
1.23	椅子	208	台							208	○	○	○	102			106 1. 22読書机の配置に基づいて椅子102台を計画する。	

番号	機材名	数量	単位	コース名	既存機材の現状(個)			要請機材の分類			使用目的	必要性	妥当性	判定	計画数量			検討内容
					A	B	C	更新	研究	新規					A	B	C	
1.3	1.3 3階																	
1.31	複写機	60	台							60								図書館として利用しないので計画対象外とする。
1.32	椅子	1	台							1								同上
1.33	椅子	4	台							4								同上
2	2.事務用家具等																	
2.1	2.1 1階																	
2.1	カタログ・学歴室	1	式															学生教育に直接関係無いので計画対象外とする。
2.1	事務室1	1	式															同上
2.1	事務室2	1	式															同上
2.1	公開学校用図書室	1	式															同上
2.1	AVラウンジ	1	式															同上
2.1	印刷室	1	式															同上
2.2	2.2 2階																	
2.2	図書処理用	1	式															学生教育に直接関係無いので計画対象外とする。
2.2	図書処理用	1	式															同上
2.2	図書館員事務室	1	式															同上
2.2	副図書館員室	1	式															同上
2.2	会議室	1	式															同上
2.2	事務室	1	式															同上
2.2	セミナー室	1	式															同上
2.2	地図室	1	式															学生教育に直接関係無いので計画対象外とする。
2.2	AVセクション室	1	式															学生教育に直接関係無いので計画対象外とする。
2.3	2.3 3階																	
2.3	AVセクション室	1	式															学生教育に直接関係無いので計画対象外とする。コンピュータ利用についてはコンピュータ室を利用することで解決する。
3	キャサレル(勉強部屋)																	
3	3.コンピュータ																	
3.1	3.1 コンピュータ 1階																	
3.1	図書検索用(学生)	10	台			7		3	10									本の検索を10人に1台と考えると既存を含め10台必要となる。既存機材のうち7台は利用できるので1階に既存の7台を配置し、新線には計画しない。
3.1	円形カウンタ一用	2	台															学生教育に直接関係無いので計画対象外とする。
3.1	カタログ・準備室用	3	台															同上
3.1	事務室用	1	台			2		1										同上
3.1	公開学校用図書室	1	台															同上
3.1	印刷室用	1	台															印刷用原紙操作室として別途「印刷セクション」に計画する。
3.2	3.2 コンピュータ 2階																	
3.2	図書検索用(学生)	5	台															本の検索を10人に1台と考えると既存を含め10台必要となる。既存機材のうち7台は利用できるので1階に記憶し、2階には新規3台を計画する。図書館長室、秘書室用のコンピュータ2台をこの項に含め、計5台とする。
3.2	図書館長室	1	台															上記図書検索用コンピュータの項に含める。
3.2	図書館員事務室	1	台															同上
3.2	副図書館員室	1	台															学生教育に直接関係無いので計画対象外とする。
3.2	地図室	1	台															同上
3.3	AVセクション室	1	台															AVセクションでAV機材の管理を行うためのコンピュータを1台計画する。
3.3	3.3 コンピュータ 3階																	
3.3	キャサレル(勉強部屋)	12	台															コンピュータ利用の目的が明確ではなく、コンピュータ室で代替利用可能なので計画対象外とする。
3.3	仕事室(検索用)	1	台															学生教育に直接関係無いので計画対象外とする。
3.3	4.事務用PC用機器	2	台															学生教育に直接関係無いので計画対象外とする。
3.3	4.1 レーザプリンタ	1	台															同上
3.3	4.2 スキャナ	1	台															同上
3.3	4.3 コピー	2	台															同上
3.3	5.複写用ラウンジ用機器																	
3.3	5.1 マルチメディアプロジェクト	1	台	共用														全学共通のAVを利用した講義室として利用するので1台計画する。
3.3	5.2 コンピュータ	1	台	共用														コンピュータを利用したプレゼンテーションが進められているので1台計画する。
3.3	5.3 VHSビデオプレイヤー	1	台	共用														既存の映像教材はVHSが多いため1台計画する。
3.3	5.4 CD/DVD プレイヤー	1	台	共用														最近の映像教材はテープからCD/DVDに変わってきておりそのため1台計画する。

番号	機材名	数量	単位	コース名	所在機材の現状			更新・補修・新規	使用目的	必要性	貸出性	判定	計画数量			機材内容
					A	B	C						A	B	C	
5.5	キャビネット	1	台	共用					各機器を収納する	○	○	○	1	1	1	盗難防止のためキャビネットを計画する。
5.6	プロジェクター用ケーブル	1	台	共用					プロジェクターのケーブルを計画する	×	×	×	1	1	1	プロジェクターの台は机などで代用できるので計画対象外とする。
5.7	プロジェクター用ケーブル(壁掛け用)	1	台	共用					プロジェクターの映像を表示する	○	○	○	1	1	1	映像表示のためのスクリーンを計画する。
6	セキュリティ機材【出入口口】															
6.1	本ガード装置	1	式	図書館用	1			1	図書の盗難防止に利用する	○	×	×	1	1	1	現在既に蔵書に対してはセキュリティシステムが稼働しており、特に支障の無いことから、新規のシステムに導入の必要性はない。
6.2	AVセクション用機材															
1	1. ビデオ撮影機材(教育用)															
1.1	デジタルビデオ撮影機	5	台	E T E 001 教育技術					授業風景の撮影に利用する	○	×	×	5	5	5	教育技術としては効果があり必要機材であると思われるが、運用面で不安がありAVセクションに同様の機材を兼納し、授業の撮影機材を行うこととした。必要な場合はAVセクションより借用することとする。
1.11	充電器	2	個	E T E 001 教育技術					撮影用電池の充電	○	×	×	2	2	2	同上
1.12	バッテリー	5	個	E T E 001 教育技術					撮影用電池	○	×	×	5	5	5	同上
1.2	画カバ	5	個	E T E 001 教育技術					画用のカバ	○	×	×	5	5	5	同上
1.3	三脚	5	個	E T E 001 教育技術					撮影機固定用三脚	○	×	×	5	5	5	同上
1.4	運搬用ケース	5	個	E T E 001 教育技術					運搬用ケース	○	×	×	5	5	5	同上
2	2. ノンレザビデオ編集・DTP機材(教育用)															
2.1	17インチモニター付きコンピュータ	5	台	E T E 001 教育技術					ビデオ編集用	○	×	×	5	5	5	教育技術としては効果があり必要機材であると思われるが、運用面で不安がありAVセクションに同様の機材を兼納し、授業の撮影機材を行うこととした。必要な場合はAVセクションより借用することとする。
2.2	ソフトウェア															
2.21	ウインドウズ 2000 X P	5	組	E T E 001 教育技術					コンピュータ用OS	○	×	×	5	5	5	教育技術としては効果があり必要機材であると思われるが、運用面で不安がありAVセクションに同様の機材を兼納し、授業の撮影機材を行うこととした。必要な場合はAVセクションより借用することとする。
2.22	ビデオ編集ソフト(初心用)	5	組	E T E 001 教育技術					ビデオ編集用ソフトウエア	○	×	×	5	5	5	同上
2.23	ビデオ編集ソフト(業務用)	5	組	E T E 001 教育技術					同上	○	×	×	5	5	5	同上
2.24	画像処理用ソフト	5	組	E T E 001 教育技術					同上	○	×	×	5	5	5	同上
2.25	DTPソフト	5	組	E T E 001 教育技術					プレゼンテーション用ソフトウエア	○	×	×	5	5	5	同上
2.26	オフィス	5	組	E T E 001 教育技術					同上	○	×	×	5	5	5	同上
2.27	パワーポイント	5	組	E T E 001 教育技術					同上	○	×	×	5	5	5	同上
2.3	デジタルビデオレコーダ/プレイヤー	1	台	E T E 001 教育技術					ビデオ編集用プレイヤーと録画	○	×	×	1	1	1	同上
2.4	テレビ(デジタルビデオ用)	1	台	E T E 001 教育技術					ビデオ映像の表示	○	×	×	1	1	1	同上
2.5	スキャナー	1	台	E T E 001 教育技術					ビデオ編集用画像の取り込み	○	×	×	1	1	1	同上
2.6	レザプリンタ	1	台	E T E 001 教育技術					録音などの印刷用	○	×	×	1	1	1	同上
2.7	ヘッドホン	5	台	E T E 001 教育技術					録音機用	○	×	×	5	5	5	同上
2.8	無停電電源装置	5	台	E T E 001 教育技術					コンピュータ用無停電電源装置	○	×	×	5	5	5	同上
2.9	コンピュータ用ケーブル	5	台	E T E 001 教育技術					コンピュータ用ケーブル	○	×	×	5	5	5	同上
2.10	ケーブルラック	1	台	E T E 001 教育技術					コンピュータ用ケーブルの収納	○	×	×	1	1	1	同上
2.11	キャビネット	1	台	E T E 001 教育技術					機材収納用	○	×	×	1	1	1	同上
3	3. ビデオ撮影機材(AVセクション用)															
3.1	デジタルビデオ撮影機	2	台	各学科共通					主として授業の撮影、副次的に学校行事も撮影する	○	○	○	2	2	2	授業撮影は教師及び学生の様子を同時に撮影するため2台計画する。
3.11	充電機	1	個	各学科共通					撮影用電池の充電	○	○	○	1	1	1	撮影機3.1の付属品として含める。
3.12	バッテリー	4	個	各学科共通					撮影用電池	○	○	○	4	4	4	同上
3.3	画カバ	2	個	各学科共通					画用のカバ	○	○	○	2	2	2	同上
3.4	三脚	2	台	各学科共通					撮影機固定用三脚	○	○	○	2	2	2	同上
3.5	運搬用ケース	2	個	各学科共通					運搬用ケース	○	○	○	2	2	2	同上
4	4. ノンレザビデオ編集・DTP機材(AVセクション用)															
4.1	コンピュータ	1	台	各学科共通					ビデオ編集用	○	○	○	2	2	2	ビデオ編集用として2台計画し1台は教育技術の授業にも利用する。
4.2	ソフトウエア	4	組	各学科共通					同上	○	○	○	2	2	2	4.2.1に含める。
4.21	ウインドウズ 2000/x.p	1	組	各学科共通					コンピュータ用OS	○	○	○	2	2	2	同上
4.22	ビデオ編集ソフト(業務用)	1	組	各学科共通					ビデオ編集用ソフトウエア	○	○	○	2	2	2	同上
4.23	画像処理用ソフト	1	組	各学科共通					ビデオ編集用ソフトウエア	○	○	○	2	2	2	同上
4.24	DTPソフト	1	組	各学科共通					プレゼンテーション用ソフトウエア	○	×	×	2	2	2	DTPソフトは必要をいと思われるので削除する。
4.25	オフィス	1	組	各学科共通					同上	○	○	○	2	2	2	4.2.2に含める
4.26	パワーポイント	1	組	各学科共通					同上	○	○	○	2	2	2	同上
4.3	ビデオモニター	2	台	各学科共通					映像表示装置	○	○	○	2	2	2	ビデオ編集用として2台計画し1台は教育技術の授業にも利用する。
4.4	デジタルビデオレコーダ/プレイヤー	1	台	各学科共通					撮影した映像の表示と保存	○	○	○	1	1	1	映像の編集用に1台計画する。
4.5	アナログデジタル変換機	1	台	各学科共通					アナログビデオをデジタルに変換する	○	○	○	1	1	1	コンピュータのインターフェイス利用が可能なので対象外とする。
4.6	VHSレコーダ/プレイヤー	1	台	各学科共通					映像の編集用に1台計画する。	○	○	○	1	1	1	映像の編集用に1台計画する。

番号	機材名	数量	単位	コース名	既存機材の取扱計画			要請機材の分類			使用目的	必要性	安否性	判定	計画数量			検討内容
					A	B	C	更新	補充	新調					A	B	C	
4.7	CD/DVD焼付け機	1	台	各学科共通											1		コンピュータのインターフェイス利用で可能な対象外とする。	
4.8	CD/DVDプレイヤー	1	台	各学科共通											1		映像の編集用に1台計画する。	
4.9	ポータブルミニディスク録画/再生機	2	台	各学科共通											2		編集に關係の無い機器なので削除する。	
4.10	カセットテープ録音機	1	台	各学科共通											1		映像の編集用に1台計画する。	
4.11	スキャナー	1	台	各学科共通											1		同上	
4.12	レーザプリンタ	1	台	各学科共通											1		編集作業などAVセクションの管理用として1台計画する。	
4.13	ヘッドホン	1	個	各学科共通											2		音声の編集用に2台計画するが、4.1コンピュータに含まれる。	
4.14	無停電電源装置	1	台	各学科共通											2		コンピュータに対する停電対策として2台計画する。	
4.15	コピー	1	台	各学科共通											1		貸し出し用の機材の管理に1台計画する。	
4.16	コンピュータ用ケーブル	1	台	各学科共通											1		相手側が用意する。	
4.17	ケーブル/ラック	1	台	各学科共通											1		同上	
4.18	キヤベネット	1	台	各学科共通											1		機材の収納に利用するため1台計画する。	
5.1	オシロスコープ	1	台												1		基本的な機材であり必要不可欠なので1台計画する。	
5.2	デジタルマルチメータ	3	台												1		基本的な機材であり必要不可欠なので1台計画する。	
5.3	デジタルLCRメータ	1	台												1		基本的な機材であり必要不可欠なので1台計画する。	
5.4	CRJ修理装置	1	台												1		同上	
5.5	半田付け装置	2	台												2		基本的な機材であり必要不可欠なので1台計画する。	
5.6	分極型圧入器	1	台												1		基本的な機材であり必要不可欠なので1台計画する。	
5.7	高電圧プローブ	1	台												1		基本的な機材であり必要不可欠なので1台計画する。	
5.8	パターンジェネレータ	1	台												1		同上	
5.9	LOPTテスター	2	台												2		同上	
5.10	消耗薬液	2	台												2		基本的な機材であり必要不可欠なので1台計画する。	
5.11	ビデオ修理用工具	2	台												2		基本的な機材であり必要不可欠なので1台計画する。	
5.12	ビデオヘッド引き抜き工具	1	台												1		基本的な機材であり必要不可欠なので1台計画する。5.13ビデオテスターに含める。	
5.13	ビデオヘッドテスター	1	台												1		基本的な機材であり必要不可欠なので1台計画する。	
5.14	ビデオ調整工具	1	台												1		基本的な機材であり必要不可欠なので1台計画する。	
5.15	ファンクションジェネレータ	1	台												1		基本的な機材であり必要不可欠なので1台計画する。	
5.16	データブック	1	冊												1		修理の際の部品に利用するので各1冊計画する。	
	ダイオードマルチメータ	1	台												1		5.16に含める	
	トランジスタマルチメータ	1	台												1		5.16に含める	
	トランジスタ一代用品	1	台												1		5.16に含める	
	C-MOS IC マニュアル	1	冊												1		5.16に含める	
	リニヤールICマニュアル	1	冊												1		5.16に含める	
	トランジスタマルチメータ	1	台												1		5.16に含める	
	半導体テータブック	1	冊												1		5.16に含める	
5.17	コンピュータ修理用テータブック	1	冊												1		5.16に含める	
5.18	キヤベネット	1	台												1		機材の収納として課のかかるキヤベネットを計画する。	
6	ワーカベンチ	1	台												1		作業台として計画する。	
6	共用視聴用機材																	
6.1	コンピュータ	4	台												2		貸し出し用として2台計画する。なお常設の機材として「K1新教室」に1台計画する	
6.2	マルチメディアプロジェクター	4	台												2		同上	
6.3	実体プロジェクター	2	台												2		使用頻度が低いと見られるので計画対象外とする。	
6.4	デジタルカメラ	2	台												2		貸し出し用として2台計画する。	
6.6	デジタルビデオプレイヤー	2	台												2		基本的にはAVセクションで編集するがDVD/VHSに変換可能なので計画対象外とする。	
6.5	CD/DVDプレイヤー	2	台												2		貸し出し用として2台計画する。	
6.7	テレビモニター	2	台												2		プロジェクターで代用できるので削除する。	
6.8	延長ケーブル	5	式												3		貸し出し用として2台計画する。	
6.9	連続用ケース	5	式												5		各機器に含める	
6.10	VHSビデオプレイヤー	0	台												2		既存のビデオ映像のため貸し出し用として2台計画する。	
6.11	スクリーン	0	台												2		スクリーンは必要不可欠なので貸し出し用として2台計画する。	
7	教育番組録画・配信機材																	

番号	機材名	数量	単位	コース名	既存機材の取扱い			更新	新規	使用目的	必要性	判定	計画数			検閲内容
					A	B	C						A	B	C	
7.1	衛星テレビアンテナ	2	式							教育放送の取得	○	○	1	1	1	科学番組(ディスカバリー)を予定しており、教育放送として有用であるので1台計画する。
7.2	デコーダ	3	台							通常の映像信号に変換する	○	○	3	3	3	1台を7月に含める
7.3	S-VHSビデオレコーダ-プレイヤー	3	台							放送の録音	○	○	1	1	2	教育放送録音用に1台計画する。
8	印刷機	1	台							単色の印刷を行う	○	○	1	1	1	教科書の作成などに利用するため1台計画する。
9	暗室用カメラ	1	台							原稿をフィルムに捺付け残像する	○	○	1	1	1	印刷前工程に必要な機器であり1台計画する。
10	PS版作製機	1	台							フィルムをPS版に焼き付け残像する	○	○	1	1	1	同上
11	切紙機	1	台							本を裁断する。大きな用紙を裁断する	○	○	1	1	1	製本工程で必要な機器であり1台計画する。
12	針金破じ器	1	台							本を針金で閉じる	○	○	1	1	1	同上
13	加線機	1	台							本を加線機にする	○	○	1	1	1	同上
14	折機	1	台							印刷された用紙を折る	○	○	1	1	1	同上
15	縫合機	1	台							印刷された用紙を縫合する	○	○	1	1	1	同上
16	デジタル印刷機	1	台							コンピュータの原稿をそのまま印刷する	○	○	1	1	1	少量の印刷に利用するために1台計画する。
17	コピー	1	台							コピーを行う	○	○	1	1	1	同上
18	作業机	1	台							原稿のレイアウト作業を行う	○	○	1	1	1	印刷前工程に必要な機器であり1台計画する。
19	棚	1	台							用紙などの格納	○	○	1	1	1	相手国側が建物改修後準備する。
20	コンピュータ	0	台							原簿の作成	○	○	1	1	1	印刷室用のコンピュータを印刷原簿作成用に特定し1台計画する。
21	言語学教育用機材															
1	LLシステム	30	台	HGS002 会話能力						言語能力向上のための自習用	○	○	30	30	30	150人の学生が週1度2-3時間自習できるような体制が必要であり、1クラス30-20人である。その他の学生にも自習の機会を与えることで30台を計画する。
2	テレビモニター	1	台	GL1101 英文法の紹介、他15						映像利用による授業	○	○	1	1	1	AVセクションが管理する共用機材を利用する。
3	ビデオレコーダ-プレイヤー	1	台	GL1101 英文法の紹介、他15						同上	○	○	1	1	1	同上
4	DVD/CDプレイヤー	1	台	GL1101 英文法の紹介、他15						同上	○	○	1	1	1	同上
5	キャビネット	1	台	GL1101 英文法の紹介、他15						機材の格納に利用する	○	○	1	1	1	同上
6	オーバ-ヘッドプロジェクター	3	台	HGS002 会話能力						授業における黒板代わりの利用	○	○	3	3	3	3つの能力別クラスに分けて全ての授業に使用する機材なので3台計画する。
7	スクリーン(移動式)	3	台	HGS002 会話能力						同上	○	○	3	3	3	同上
8	カセットテーププレイヤー	3	台	HGS002 会話能力						聞き取りの授業に利用する	○	○	3	3	3	同上
9	デジタルビデオカメラ	1	台	GL1101 英文法の紹介、他15						授業の撮影	○	○	1	1	1	AVセクションが管理する共用機材を利用する。
10	教育工学教育用機材															
1	テレビ	2	台	ETE001 教育技術						操作方法を教習するために利用する	○	○	2	2	2	AVセクションが管理する共用機材を利用する。
2	オーバ-ヘッドプロジェクター	3	台	ETE001 教育技術						同上	○	○	3	3	3	同上
3	移動式黒板	3	台	ETE001 教育技術						同上	○	○	3	3	3	同上
4	複写機	2	台	ETE001 教育技術						同上	○	○	2	2	2	同上
5	ビデオプレイヤー	4	台	ETE001 教育技術						同上	○	○	4	4	4	同上
6	スライドプロジェクター	5	台	ETE001 教育技術						同上	○	○	5	5	5	同上
7	ステレオアンプ	1	台	ETE001 教育技術						同上	○	○	1	1	1	同上
8	カセットプレイヤー	1	台	ETE001 教育技術						同上	○	○	1	1	1	同上
9	CDプレイヤー	1	台	ETE001 教育技術						同上	○	○	1	1	1	同上
10	コピー	1	台	ETE001 教育技術						同上	○	○	1	1	1	同上
11	コンピュータ	60	台	共用						学生の自習用及びレポート作成用	○	○	60	60	60	既存の男性用と女性用のオーブンコンピュータ室を合併し新コンピュータ実習室を女性専用とする。本設備の新設により学生約10人に1台のコンピュータ設備が実現する。学生の男性と女性の比率は6:4であるがジェンダーに配慮した構成とした。
1.11	コンピュータ(サーバ)	1	台	共用						60台のコンピュータのファイルサーバ	○	○	1	1	1	ファイルサーバは不可欠なので1台計画する。
1.2	ソフトウエア	60	組	共用						クラウドのOS	○	○	60	60	60	不可欠なソフトなので60組計画し、1.11に含める。
1.21	ワードワス 2000	60	組	共用						簿記、ワードプロセッサ、ホームページ制作、プレゼンテーション、データベースの学習用	○	○	60	60	60	同上
1.22	オフィス	60	組	共用						ワイルドキャットに利用する	○	○	60	60	60	同上
1.23	ワイルドソフト	60	組	共用						ワイルドキャットに利用する	○	○	60	60	60	同上
1.24	数学ソフト	10	組	共用						数学用計算ソフトウェアの使い方を教育	○	○	10	10	10	図書館所有の数学ソフトを利用する。

番号	機材名	要請数量	単位	コース名	既存機材の現状詳細			要請機材の分類			使用目的	必要性	妥当性	判定	計画数量			機材内容	
					A	B	C	A	B	C					A	B	C		
1.25	サーバー用OS	1	組	共用				更新	新規					1	1	1	1	ファイルサーバーのソフトは不可欠なので1台計画し、1.111に含める。	
1.3	ネットワーク構築用機材	700	式	共用										700	1	1	1	必要なネットワーク機材を計画する。	
1.31	ケーブル	130	種	共用										130	同上	同上	同上		
1.32	プラグ	60	種	共用										60	同上	同上	同上		
1.33	ネットワークポイント	2	台	共用										2	同上	同上	同上		
1.34	ハブ	2	台	共用										2	同上	同上	同上		
1.35	ハブ	2	台	共用										2	同上	同上	同上		
1.36	無停電電源装置	2	台	共用										2	同上	同上	同上		
1.4	レーザープリンタ	2	台	共用										2	印刷装置	2	印刷装置		
1.5	レーザプリンタ	1	台	共用										1	図形の入力装置として60台に同じ1台を計画する。	1	図形の入力装置として60台に同じ1台を計画する。		
1.5	無線LANアクセサリ	60	台	共用										60	図形の入力装置として60台に同じ1台を計画する。	60	図形の入力装置として60台に同じ1台を計画する。		
1.6	無停電電源装置	1	台	共用										1	クラッシュ防止用電源装置	1	クラッシュ防止用電源装置		
1.7	自動電圧安定装置	2	台	共用										2	空調設備	2	空調設備		
1.8	エアコン	1	式	共用										1	盗難予防用	1	盗難対策として盗難防止システムを導入する。		
1.9	セキュリティシステム	1	式	共用										1	盗難対策として盗難防止システムを導入する。	1	盗難対策として盗難防止システムを導入する。		
2	2.コンピュータ教育教室																		
2.1	LCDプロジェクタ	1	台	数学・コンピュータ学科										1	コンピュータデータの表示用	1	AVセッションが管理する共用機材を利用する。		
2.2	スクリーン(移動用)	1	台	数学・コンピュータ学科										1	表示用スクリーン	1	同上		
2.3	自動電圧安定装置	1	台	数学・コンピュータ学科										1	サーバ対策用電源装置	1	既存のシステム用のため計画から除外する。		
2.4	セキュリティシステム	1	式	数学・コンピュータ学科										1	盗難予防用	1	同上		
3	3.男性用オープンコンピュータ教室																		
3.1	自動電圧安定装置	1	台	共用										1	サーバ対策用電源装置	1	既存のシステム用のため計画から除外する。		
3.2	エアコン	1	台	共用										1	空調設備	1	同上		
3.3	セキュリティシステム	1	式	共用										1	盗難対策	1	同上		
4	4.女性用オープンコンピュータ教室																		
4.1	自動電圧安定装置	1	台	共用										1	サーバ対策用電源装置	1	既存のシステム用のため計画から除外する。		
4.2	エアコン	1	台	共用										1	空調設備	1	同上		
4.3	セキュリティシステム	1	式	共用										1	盗難対策	1	同上		
5	5.1.ILルーム																		
5.1	ケーブルリスター	1	台	共用										1	ケーブルの断線チェック用	1	断線修理に不可欠な道具であるので1台計画する。		
5.2	光ケーブルスター	3	台	共用										3	光ケーブルの断線チェック用	3	同上		
5.3	無停電電源装置	2	台	共用										2	停電対策用	2	同上		
5.4	エアコンプレッサ	2	台	共用										2	機器清掃用	2	1. 使用頻度が低いので、設計仕様料に既存のものを利用する。 2. 機器清掃用		
5.5	ハブ	4	台	共用										4	ネットワーク機器	4	1. コンピュータ実習室新設に伴いサーバーの配線を換える必要があるため計画する。 2. 同上		
5.6	サーバー用OS	1	組	共用										1	ファイルサーバー用OS	1	同上		
1	1.言葉用機材																		
1.1	トロンボーン	1	台	HEXA011 表現芸術1、他9コース	1														音楽演奏
1.2	トランペット	3	台	HEXA011 コース	1														音楽演奏
1.3	コルネット	2	台	HEXA011 コース	1														音楽演奏
1.4	アルトサクソ	4	台	HEXA011 コース	1														音楽演奏
1.5	テナーサクソ	4	台	HEXA011 コース	1														音楽演奏
1.6	クラリネット	3	台	HEXA011 コース	1														音楽演奏
1.7	フルート	4	台	HEXA011 コース	1														音楽演奏
1.8	バイオリン	2	台	HEXA011 コース	1														音楽演奏
1.9	電気ギター(リードギター)	1	台	HEXA011 コース	1														音楽演奏
1.10	バスギター	1	台	HEXA011 コース	1														音楽演奏
1.11	リードギター用アンプ	1	台	HEXA011 コース	1														音楽演奏

番号	機材名	数量	単位	コース名	既存機材の現状把握			要置機材の分類	使用目的	必要性	判定	計画数量			検討内容
					A	B	C					A	B	C	
1.12	バスギター用アンプ	1	台	HEXA011 表現芸術1、他9コース	1			1	同上	○	○	1	同上	既存の機材は壊れているのが1台あるがその更新として、新規に1台計画し1台で利用する。	
1.13	ドラムセット	1	組	HEXA011 表現芸術1、他9コース	1		1	1	同上	○	○	1	同上	楽器を演奏する際に必要で、新規に1台計画する。	
1.14	ミュージックスタンド	20	個	HEXA011 表現芸術1、他9コース			20	20	楽器立て	○	○	20		楽器を立てる際に必要で、新規に20台計画する。	
1.15	デジタルピアノ(生徒用)	12	台	HEXA011 表現芸術1、他9コース	1		12	12	楽器演奏	○	○	12		学生数から30台を計画すると2人1台で適当な数であると思われるが、スペースの関係で12台が限度であり12台とする。	
1.16	ピアノ用イス	13	台	HEXA011 表現芸術1、他9コース			13	13	同上	○	○	13		楽器演奏用のイスを13台計画する。	
1.17	デジタルピアノ(先生用)	1	台	HEXA011 表現芸術1、他9コース	1		1	1	同上	○	○	1		教師用の機材を1台計画する。	
1.18	シンセサイザー	1	台						発表会用及び合同演奏用の機材を1台計画する。	○	○	1		発表会用及び合同演奏用の機材を1台計画する。	
1.19	シンセサイザー	1	台						発表会用としてオーケストラの音色が表現できる機材を1台計画する。	○	○	1		発表会用としてオーケストラの音色が表現できる機材を1台計画する。	
1.20	パワーアンプ	1	台	HEXA011 表現芸術1、他9コース					発表会用として1台計画する。	○	○	1		発表会用及び合同演奏用として1台計画する。	
1.21	16チャンネルミキサー	1	台	HEXA011 表現芸術1、他9コース	1		1	1	同上	○	○	1		発表会用及び合同演奏用として1台計画する。	
2.1	2.作曲用機材	1	台	GEA322 音楽、他3コース					デジタル録音機	×	×	1		作曲には特に必要ないが計画対象とする。	
2.2	デジタルサウンズレコーダー	1	台	GEA322 音楽、他3コース					演奏の確認	×	×	1		作曲用のコースは少人数4人に絞って教育する予定なので4台とする。将来人数が増えた場合は共用も考える。	
2.3	ミニタンスピーカー	4	台	GEA322 音楽、他3コース					コンピュータに音を録音させ楽器を作成する。	○	○	4		作曲用のコースは少人数4人に絞って教育する予定なので4台とする。将来人数が増えた場合は共用も考える。システムとして構成する必要があるので2.3.1に含めて考える。	
2.4	電子キーボード	4	台	GEA322 音楽、他3コース					演奏用キーボード	○	○	4		演奏用キーボード	
2.5	作曲用ソフトウエア	4	組	GEA322 音楽、他3コース					作曲のためのソフトウエア	○	○	4		作曲のためのソフトウエア	
2.6	レコーディングソフトウエア	4	組	GEA322 音楽、他3コース					記録用ソフトウエア	○	○	4		記録用ソフトウエア	
2.7	レーザプリンタ	1	台	GEA322 音楽、他3コース					楽譜の印刷	○	○	1		楽譜の印刷用に1台計画する。	
2.8	CDスキャナー	1	台	GEA322 音楽、他3コース					CDへの書き込み	○	○	1		楽譜の印刷用に1台計画する。	
2.9	コンピュータシステム	1	台	GEA322 音楽、他3コース					演奏の確認	○	○	1		演奏の確認用に1台計画する。音楽の演奏練習にも利用する。	
2.10	無線LAN設置	4	台	GEA322 音楽、他3コース					コンピュータの電源対策	○	○	4		コンピュータの電源対策として4台計画する。	
2.11	自動電源安定装置	1	台	GEA322 音楽、他3コース					電源のサージ対策	○	○	1		サージ対策として機器を保護する装置を計画する。機能はUPSに含める。	
3	教育実習用機材														
3.1	テレビ	1	台	音楽教育実習					演奏の鑑賞用	○	○	1		AVセクションが管理する共用機材を利用する。	
3.2	VHSビデオレコーダー	1	台	音楽教育実習					同上	○	○	1		同上	
3.3	キャビネット	1	台	音楽教育実習					機材の収納	○	○	1		同上	
3.4	デジタルビデオカメラ	1	台	音楽教育実習					授業の撮影	○	○	1		同上	
1	1.ラボ用精密電子天秤														
1.1	ラボ用精密電子天秤	2	台	土壌学、植物学、動物学、農学環境学コース				2	試料の精密計量に使用	○	○	2		基本的なラボ用機材であり、卓上型機材をディプロマ課程及び履学士課程に各1台計画する。	
1.2	蒸留水精製器、脱イオン装置付き	1	台	土壌学、植物学、動物学、農学環境学コース				1	試料・試薬等の希釈、精製に使用	○	○	1		試料・試薬等の希釈、精製およびガラス器具等の洗浄等に必要で基礎機材で、共用機材として1台を計画。	
1.3	ラボ用乾燥乾燥機	1	台	土壌学、植物学、動物学、農学環境学コース				1	一般活性物質の乾燥に使用	○	○	1		基本的なラボ用機材であり、簡易型のもを共用機材として1台計画する。	
1.4	アンモニア蒸留装置	1	式	土壌学、植物学、動物学、農学環境学コース				1	対象課程の実験訓練用として土壌、動物学及び飼料中のアンモニアの分析に供される	○	○	1		ディプロマ、学士課程共用機材として1台を計画する。	
1.5	ラボ用恒温式培養器	1	台	土壌学、植物学、動物学、農学環境学コース				1	サンプリングの培養・経過観察に使用	○	○	1		基本的且つ必須機材であり、卓上式のものを用いて1台計画する。	
1.6	デジタル式pHメーター	2	台	土壌学、植物学、動物学、農学環境学コース				2	多様・多様なサンプリングのpH値の測定に使用	○	○	2		基本的且つ必須機材として卓上型のものを用いて1台計画する。土壌学、動物学、植物学、農学環境学コースに各1台計画する。	
1.7	テンケーター	5	台	土壌学、植物学、動物学、農学環境学コース				5	サンプリングの乾燥・冷却に使用	○	○	5		多様・多様なサンプリングの乾燥等の用途に応じて仕様の異なるタイプを計画する。	
1.8	卓上型遠心分離機	1	台	土壌学、植物学、動物学、農学環境学コース				1	試料の化学成分の分離・抽出に使用	○	○	1		共用機材として卓上型の機材1台を計画。アクリル製として計画機材に含める。	
1.81	卓上型遠心分離機用ポリプロピレン製試験管50ml、30ml、15ml付	2	ダース	土壌学、植物学、動物学、農学環境学コース				2	試料の成分採取用、遠心分離器と同時に使用	○	○	2		共用機材として2種類の試験管をそれぞれ24本計画する。	
1.82	卓上型遠心分離機用ポリプロピレン製試験管50ml、30ml、15ml付	2	ダース	土壌学、植物学、動物学、農学環境学コース				2	同上	○	○	2		同上	

番号	機材名	要請数量	単位	コース名	取替機材の現状計画			更新	補正	新設	使用目的	必要性	妥当性	判定	計画数量			機材内容
					A	B	C								A	B	C	
1.9	分光光度計	2	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						2	○	○	○	2	○	○	○	基本的なラボ用機材であり、ディプロマ課程及び農学士課程に各1台計画する。
1.10	真空ポンプ	1	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						1	○	○	○	1	○	○	○	基本的なラボ用機材であり、ディプロマ課程及び農学士課程共用として1台計画する。
1.11	乳鉢、乳棒	5	組	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						5	○	○	○	5	○	○	○	基本的なラボ用機材として学生5人当たり1セット、計5セットを計画する。
1.12	ヒーター・ブロッコ	1	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						1	○	○	○	1	○	○	○	微量サンプリングの分析、前処理に必要機材として1台を計画する。
1.13	原子吸分光光度分析装置	1	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						1	x	x	x	1	x	x	x	学生の実習機材として1台を計画する。維持管理の面からも困難であると判断を各本計画より除外する。
1.14	自動分析装置	1	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						1	x	x	x	1	x	x	x	同上
1.15	導電率計	4	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						4	○	○	○	4	○	○	○	基礎的実習機材として必要。ラボ用を1台、野外実習用ポータブルタイプを3台として計画する。
1.16	炎光光度計	1	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						1	○	○	○	1	○	○	○	対象サンプリング中の金属元素(Na, K, Li等)の分析に必要であるが、「理科教育用機材」として1台を計画したの共用する。
1.17	マントル	1	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						1	○	○	○	1	○	○	○	基本的なラボ用機材であり、ディプロマ課程及び農学士課程共用として1台計画する。
1.18	ケルダール式窒素含有量測定装置	1	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						1	○	○	○	1	○	○	○	同上
1.19	分注器	5	個	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						5	○	○	○	5	○	○	○	基本的なラボ用機材として学生5人当たり1セット、計5セットを計画する。
1.20	カロリメーター	5	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						5	○	○	○	5	○	○	○	同上
1.21	電動ポンプ	1	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						1	○	○	○	1	○	○	○	試料、試薬等の吸引に使用する基礎機材で、ディプロマ課程及び農学士課程共用として1台を計画する。
1.22	恒温水槽	1	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						1	○	○	○	1	○	○	○	基本的なラボ用機材であり、ディプロマ課程及び農学士課程共用として1台計画する。
1.23	顕微鏡	20	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						20	○	○	○	20	○	○	○	基本的なラボ用機材であり、ディプロマ課程、学生課程の共用として1~2名/台で計20台を新規に計画する。
1.24	解剖用顕微鏡	20	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						20	○	○	△	10	○	○	○	基本的に必要な機材であるが、一般用顕微鏡とは異なり使用頻度は低いと考察され、ディプロマ課程及び農学士課程共用として2~3名/1台とし計10台を計画する。
1.25	植大鏡(ルーペ)	20	個	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						20	○	○	○	20	○	○	○	基礎機材として不可欠で、共用機材として20台を計画する。
1.26	コルク栓孔穴器	1	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						1	○	○	○	1	○	○	○	実験、実習用機材として共用するため、1台を計画する。
1.27	ラボ用フレンダー、タイマー付	1	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						1	○	○	○	1	○	○	○	同上
1.28	ラボ用冷蔵庫	1	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						1	○	○	○	1	○	○	○	同上
1.29	ラボ用冷凍庫	1	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						1	○	○	○	1	○	○	○	同上
2	2. 土壌・栽培用機器																	
2.1	土壌密度採取用器具、ステンレス製	20	個	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						20	○	○	○	20	○	○	○	基本的な実習機材であり、ディプロマ課程及び農学士課程に各10個計画する。
2.2	回転式シェーカー	2	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						2	○	○	○	2	○	○	○	基本的な実習機材であり、ディプロマ課程及び農学士課程に各1台計画する。
2.3	水平回転式シェーカー	2	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						2	○	○	○	2	○	○	○	同上
2.4	屈折率計	5	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						5	○	○	○	5	○	○	○	ハンディタイプのものでディプロマ課程及び農学士課程共用として学生5人当たり1台、計5台を計画する。
2.5	ツルグレイソン氏式漏斗	1	個	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						1	○	○	○	1	○	○	○	基本的な実習機材であり、ディプロマ課程に共用として1台を計画する。
2.6	土壌洗浄器具	1	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						1	○	○	○	1	○	○	○	同上
2.7	ラボベンチ型顕微鏡	2	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						2	○	○	○	2	○	○	○	基本的な実習機材であり、ディプロマ課程及び農学士課程に各1台計画する。
2.8	pHメーター	2	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						2	○	○	○	2	○	○	○	ハンディタイプのものでディプロマ課程及び農学士課程に各1台計画する。
2.9	イオン濃度計	1	台	土壌学、植物学、動物学、農芸工学コース						1	○	○	○	1	○	○	○	基本的な実習機材であり、ディプロマ課程及び農学士課程共用として1台を計画する。

番号	機材名	原簿数量	単位	コース名	既存機材の現状(数量)			要請機材の分類			使用目的	必要性	判定	計画数量			機材内容
					A	B	C	更新	補充	新規				A	B	C	
2.10	土壌試験用部分器	1	台	土壌学、植物学、栽培学、農業環境学コース					1			○	○	○	同上	同上	
2.11	篩分器用ふるし器	1	台	土壌学、植物学、栽培学、農業環境学コース					1			○	○	○	同上	基本的な実習機材であり、ディプロマ課程及び農学士課程に各1台計画する。	
2.12	水質計	2	台	土壌学、植物学、栽培学、農業環境学コース					2			○	○	○	同上	同上	
2.13	自己記録式湿度計	2	台	土壌学、植物学、栽培学、農業環境学コース					2			○	○	○	同上	基礎的な機材であり異なる環境(農場)に設置する必要があることから2台を共用機材として計画する。	
2.14	自己記録式感熱計	2	台	土壌学、植物学、栽培学、農業環境学コース					2			○	○	○	同上	基礎的な機材であり異なる環境(農場)に設置する必要があることから2台を共用機材として計画する。	
2.15	土壌比重計	5	台	土壌学、植物学、栽培学、農業環境学コース					5			○	○	○	5	基本的な実習機材であり、ディプロマ課程及び農学士課程として5台計画する。	
2.16	土壌用温度計	10	台	土壌学、植物学、栽培学、農業環境学コース					10			○	○	○	10	基本的な実習機材であり、ディプロマ課程及び農学士課程として10台計画する。	
2.17	果物用ゲージ	5	個	植物学、栽培学コース					5			○	○	○	5	基本的な実習機材であり、ディプロマ課程及び農学士課程として5台計画する。	
2.18	樹木測定器(伸長竿付)	5	台	植物学、栽培学コース					5			○	○	○	5	同上	
2.19	葉緑素計	5	台	植物学、栽培学コース					5			○	○	○	5	同上	
2.20	ゲルフ式土壌浸透圧伝導率計	5	台	植物学、栽培学コース					5			○	○	○	5	同上	
2.21	土壌浸透性測定器	5	台	植物学、栽培学コース					5			○	○	○	5	上記2-20の構成品として計画する。	
2.22	土壌水圧伝導率計	5	台	植物学、栽培学コース					5			○	○	○	5	同上	
2.23	土壌浸透・圧縮計	5	台	植物学、栽培学コース					5			○	○	○	5	基本的な実習機材であり、ディプロマ課程及び農学士課程として5台計画する。	
2.24	土壌浸透率計	5	台	植物学、栽培学コース					5			○	○	○	5	同上	
2.25	土壌張力計	5	台	植物学、栽培学コース					5			○	○	○	5	同上	
2.26	土壌水分測定用プローブ	5	台	植物学、栽培学コース					5			○	○	○	5	同上	
2.27	TDR型土壌水分計	5	台	植物学、栽培学コース					5			○	○	○	5	同上	
2.28	静的硬度測定計、土壌浸透圧及び土壌粘性用	5	台	植物学、栽培学コース					5			○	○	○	5	同上	
2.29	圧力式抽出分離器、土壌保水性測定用	5	台	植物学、栽培学コース					5			○	○	○	5	同上	
2.30	水位差計	5	台	植物学、栽培学コース					5			○	○	○	5	同上	
2.31	マンセル式カラー土壌チャート	30	台	植物学、栽培学コース					30			○	○	○	30	基礎的な機材でありディプロマ課程10セット及び農学士課程20セットの計30セットを計画する。	
2.32	風速計	5	台	植物学、栽培学コース					5			○	○	△	2	基礎的な機材であり異なる環境(農場)に設置する必要があることから2台を共用機材として計画する。	
2.33	土壌採取用コア	5	台	植物学、栽培学コース					5			○	○	○	5	基本的な実習機材であり、ディプロマ課程及び農学士課程として5台計画する。	
2.34	土壌採取用ドリル(鋸)	5	台	植物学、栽培学コース					5			○	○	○	5	同上	
2.35	自然環境モニタリング器具	2	台	植物学、栽培学コース					2			○	○	△	1	基本的な機材で、新農場に設置予定であり1台で充分であるので共用機材として1台計画する。	
3	3. ラボ用ガラス器具	1	式	土壌学、植物学、栽培学、農業環境学コース					1			○	○	△	1	計画機材を使用する際に必要なガラス器具を付属品として計画する。該当するアイテムに含めることとする。	
4	4. ラボ用消耗品(試薬)	1	式	土壌学、植物学、栽培学、農業環境学コース					1			○	○	△	1	計画機材を使用する際に必要な化学薬品・試薬等を付属品として計画する。該当するアイテムに含めることとする。	
5	5. 顕微鏡・実習演習機材																
5.1	テレビ	1	台	農学講義共通					1			○	○	○	1	試験室に設置しているAV機器を利用するが、A/Vセクションの共同利用機材を借用する。	
5.2	VHSビデオプレイヤー	1	台	農学講義共通					1			○	○	○	1	同上	
5.3	キャビネット	1	台	農学講義共通					1			○	○	○	1	機材の格納	

番号	機材名	要請数量	単位	コース名	既存機材の現状評価			要請機材の分類			使用目的	必要性	妥当性	計画数量			検討内容
					A	B	C	更新	補充	新規				A	B	C	
6.4	スライドプロジェクター	1	台	農学講義共通									1	同上			
6.5	オーバヘッドプロジェクター	3	台	農学講義共通									3	同上			
6.6	スクリーン(移動用)	1	台	農学講義共通									1	同上			
6.7	デジタルカメラ	1	台	農学講義共通									1	同上			
6.8	デジタルビデオカメラ	1	台	農学講義共通									1	同上			
6	6.モジュール農機用機材																
6.1	トラクター	1	台	SAGE221作物生産、他11コー									1	同上			畑を作る基本的な装置であるので1台計画する。
6.11	トラクター	1	台	SAGE221作物生産、他11コー									1	同上			
6.12	ディスクプロロー	1	台	SAGE221作物生産、他11コー									1	同上			
6.13	ディスクハロー	1	台	SAGE221作物生産、他11コー									1	同上			
6.14	モールドボードプロロー	1	台	SAGE221作物生産、他11コー									1	同上			
6.15	ロータリーディスクモワー	1	台	SAGE221作物生産、他11コー									1	同上			
6.2	発電機	1	台	SAGE221作物生産、他11コー									1	同上			農場の動力源として1台計画する。
6.3	ポータブルローモワー	1	台	SAGE221作物生産、他11コー									1	同上			農場の草刈用として1台計画する。
6.4	ウォーターポンプ	1	台	SAGE221作物生産、他11コー									1	同上			農場のかんがい用として1台計画する。
6.5	灌漑用ホース	2	式	SAGE221作物生産、他11コー									2	同上			農場のかんがい用として2台計画する。6.4灌漑ポンプに含めて計画する。
6.6	スプリングロー	20	台	SAGE221作物生産、他11コー									20	同上			6.4に含め灌漑システムとして必要な量を計画する。
6.7	養鶏用小屋	1	棟	SAGE221作物生産、他11コー									1	同上			施設物は相手国側が準備する。
6.8	養豚用小屋	1	棟	SAGE221作物生産、他11コー									1	同上			
6.9	種畜場	1	棟	SAGE221作物生産、他11コー									1	同上			
6.10	冷蔵庫	1	台	SAGE221作物生産、他11コー									1	同上			作物農本の保存用に1台計画する。
6.11	冷蔵庫	1	台	SAGE221作物生産、他11コー									1	同上			
6.12	工具	1	個	SAGE221作物生産、他11コー									1	同上			農業機械の保守工具を計画する。
6.13	コーヒ削き機	5	台	SAGE221作物生産、他11コー									5	同上			実習は不十分なで計画から除かす。
6.14	製粉(米)機	2	台	SAGE221作物生産、他11コー									2	同上			米の製粉実習用として2台計画する。
6.15	吊り下げ式体重計	4	台	SAGE221作物生産、他11コー									4	同上			吊り下げ式の体重計を2台計画する。
6.16	動物体重計	5	台	SAGE221作物生産、他11コー									5	同上			体重測定用の体重計を2台計画する。
6.17	ハンマーミル	1	台	SAGE221作物生産、他11コー									1	同上			飼料粉砕実習用として1台計画する。
6.18	飼料グラインダ	1	台	SAGE221作物生産、他11コー									1	同上			飼料粉砕実習用として1台計画する。
6.19	フィードベレッタ	1	台	SAGE221作物生産、他11コー									1	同上			ベレット飼料製造実習用として1台計画する。
6.20	フィードビンズ	10	個	SAGE221作物生産、他11コー									10	同上			飼料保存用として10個計画する。
6.21	フィーディングバケット	10	個	SAGE221作物生産、他11コー									10	同上			飼料運搬用に10個計画する。
6.22	イヤータグ取付器	2	式	SAGE221作物生産、他11コー									2	同上			家畜管理用として2セット計画する。
6.23	鉄製籠	5	台	SAGE221作物生産、他11コー									5	同上			動物の代綴測定実習時に入れる籠を5台計画する。

番号	機材名	要請数量	単位	コース名	取付機材の現状詳細			要請機材の分類			使用目的	必要性	妥当性	判定	計画数量			検討内容
					A	B	C	A	B	C					A	B	C	
6.24	エマスケレータ	2	個	SAGE2211作物生産、他11コース						2	○	○	○	2			家畜の去勢実習用として2個計画する。	
6.25	巻尺	2	組	SAGE2211作物生産、他11コース						2	○	○	○	2			巻尺セットを2組計画する。	
1.1	電子天秤(秤量 400g 最小表示 0.01g)	2	台	生物学全103-1・一般化学全10コース(SB10 101, SB10 332)						2	○	○	○	6			ラボ実習用として必須の機材であり、生物ラボ、化学ラボに各1台の計2台を計画する。同様以下以下のアイテム1.2及び1.3を同一アイテムとして1.1としてまとめる。	
1.2	電子天秤(秤量 200g 最小表示 1mg)	2	台	生物学全103-1・一般化学全10コース(SB10 101, SB10 332)	3					2	○	○	○	2			最大200g程度の試料の精密計量に使用する	
1.3	精密電子天秤(秤量 100g 最小表示 0.1mg)	2	台	生物学全103-1・一般化学全10コース(SB10 101, SB10 332)						2	○	○	○	2			100g以下の試料の微量・精密計量に使用する	
1.4	卓上型pHメーター	2	台	生物学全103-1・一般化学全10コース(SB10 101, SB10 332)	1	1	1			4	○	○	○	4			既存の卓上型1台が故障中で修理不能な為1台を更新対象とし、1台を補充して計2台を計画。1.5の型外実習用ハンディタイプのものも更新対象として計2台を計画し合計4台を計画する。1.6予備電極及び1.7校正用キットを併せて同一アイテムに構成品としてまとめる。	
1.5	ハンディタイプpHメーター	2	台	生物学全103-1・一般化学全10コース(SB10 101, SB10 332)						2	○	○	○	2			上記1.4に含める。	
1.6	予備電極	4	個	生物学全103-1・一般化学全10コース(SB10 101, SB10 332)						4	○	○	○	4			同上	
1.7	pH校正用キット	5	台	生物学全103-1・一般化学全10コース(SB10 101, SB10 332)						4	○	○	○	4			同上	
1.8	伝導率計	1	台	生物学紹介 203-1・生理学、生化学コース						1	○	○	○	1			基本的ラボ機材であり、理科ラボ共用として1台を計画。	
1.9	デジタル温度計	2	台	生物学紹介 203-1・生理学、生化学コース						2	○	○	○	2			基本的ラボ機材であり、理科ラボ共用として2台を計画。	
1.10	水銀温度計(青黄色、白)	10	台	化学、生物学、生理学、生化学、微生物学及び遺伝学コース	15				10	10	○	○	○	10			基本的ラボ機材であり、理科ラボ共用として2台を計画。基本的ラボ機材であり、理科ラボ共用として10台を計画。黄色(1.11)を10台、それぞれを計画する。	
1.11	水銀温度計(青黄色、黄)	10	台	化学、生物学、生理学、生化学、微生物学及び遺伝学コース	1				1	9	○	○	○	10			上記1.10に含める。	
1.12	オートピペット、可変式1-10 ml(70)台	6	台	化学、生物学、生理学、生化学、微生物学及び遺伝学コース						6	○	○	○	6			理科の各ラボ共用機材として6本を計画。要請リストはそれぞれ容量毎にアイテムが別になっているのでこれを同一アイテムの1.12とし1.13~1.16は削除する。	
1.13	オートピペット、可変式10-100 ml(70)台	6	台	化学、生物学、生理学、生化学、微生物学及び遺伝学コース						6	○	○	○	6			上記1.12に含める。	
1.14	オートピペット、可変式100-1000 ml(70)台	6	台	化学、生物学、生理学、生化学、微生物学及び遺伝学コース						6	○	○	○	6			同上	
1.15	オートピペット、可変式1-5 ml(70)台	6	台	化学、生物学、生理学、生化学、微生物学及び遺伝学コース						6	○	○	○	6			同上	
1.16	オートピペット用再使用型チップ	6	台	化学、生物学、生理学、生化学、微生物学及び遺伝学コース						6	○	○	○	4			同上(4種類のチップを各1チップ含める)	
2	2. 分析装置																	
2.1	分光光度計	4	台	基礎生物学、化学、生理学、微生物学及び遺伝学コース(SB10 101, SB10 332, SB10 431)	1	1				3	○	○	○	4			アナログタイプの既存のもの1台有するが劣化のため故障しており修理不能。農業・理科の全ラボで共同利用するため、1台を更新対象とし3台を新規とし計4台を計画。アナログタイプの基本的な機材を計画する。	
2.2	紫外、可視分光光度計	1	台	環境学、生物組織学、化学、生物学、及び生態学における定量的分光測定法による蛋白の溶解、血清アルブミン、クロブリンなどの脱離後の詳細・デモンストラーション及び蔗糖や果糖ジュースなどの糖度の低下原因を定量的に分析しそのメカニズムを実験・実習する。						1	○	○	○	1			農業・理科全課程の共同利用分析機器として1台を計画する。	
3	3. クロマトグラフィ・電気泳動装置																	

番号	機材名	数量	単位	コース名	既存機材の現状			要請機材の分類			使用目的	必要性	判定	計画数量			検討内容
					A	B	C	A	B	C				A	B	C	
3.11	ペーパー式クロマトグラフ	4	台	一般化学、植物学、組織学、化学1&11、及び学生の研究プロジェクト等の基礎コース(SB10.101, SB10.332)				4				○	○	4		基本的なラポ機材として生物ラポ及び化学ラポにそれぞれ2台の計4台を計画する。要請機材リストは同種機材をアイテム別に記載されているのでこれをまとめてアイテム3.11に入力3.11より3.13は削除する。	
3.11	クロマトグラフ用紙、ロールタイプ、グレート1 (99m ロール)	1	巻	一般化学、植物学、組織学、化学1&11、及び学生の研究プロジェクト等の基礎コース				1				○	○	1		上記3.11に含める。	
3.12	クロマトグラフ用紙、ロールタイプ、グレート1 (100mロール)	1	巻	一般化学、植物学、組織学、化学1&11、及び学生の研究プロジェクト等の基礎コース				1				x	x	1		3.11の重複記載されており削除する。	
3.13	クロマトグラフ用紙、シートタイプ、グレート1 (300シート/セット)	1	セット	一般化学、植物学、組織学、化学1&11、及び学生の研究プロジェクト等の基礎コース				1				○	○	1		上記3.11に含める。	
3.2	薄層クロマトグラフ	1	台	一般化学、植物学、組織学、化学1&11、及び学生の研究プロジェクト等の基礎コース(SB10.101, SB10.332)				1				○	○	1		基本的なラポ機材として生物ラポ及び化学ラポ共用として1セットを計画。要請機材リストでは同種必要機材をアイテム別に記載されているのでこれをまとめてアイテム3.21に入力3.21より3.23は削除する。	
3.21	薄層クロマトグラフ用カラム	6	個	一般化学、植物学、組織学、化学1&11、及び学生の研究プロジェクト等の基礎コース				6				x	x	6		要請機材はカラムが不要であるので削除する。	
3.22	薄層クロマトグラフ用容器	6	個	一般化学、植物学、組織学、化学1&11、及び学生の研究プロジェクト等の基礎コース				6				○	○	5		要請機材は容器が標準品として1個付属しているため、5個を3.20の本体に含める。	
3.23	薄層クロマトグラフ用スプレーガン	6	個	一般化学、植物学、組織学、化学1&11、及び学生の研究プロジェクト等の基礎コース				6				○	○	5		要請機材はスプレーガンが標準品として1個付属しているため、5個を3.20の本体に含める。	
3.3	電気泳動装置セット	1	式	一般化学、植物学、組織学、化学1&11、及び学生の研究プロジェクト等の基礎コース(SB10.101, SB10.332)				1				○	○	1		基本的機材で、生物ラポ及び化学ラポ共用機材として1セットを計画する。	
4	4. 一般共用機器																
4.1	ベンゼンパーナ	25	台	化学・生物の全コース		17		8				○	○	25		既存のパーナは老朽化してガス漏れなどの危険が予測されるため、17台を更新対象とし、8台を補充とし合計25台を計画する。	
4.2	ポルテックス式ミキサー、連続可変型	2	台	化学・生物の全コース								○	○	2		実習用機材として必須であり生物ラポ及び化学ラポ用としてそれぞれ1台、計2台計画する。	
4.3	ブレンダー	2	台	化学・生物の全コース								○	○	2		同上	
4.4	細胞破砕器	2	台	化学・生物の全コース								○	○	2		同上	
4.5	電気誘導器付プレート付	1	台	化学・生物の全コース		5	1	1				○	○	1		既存のもの6台あるが内1台は老朽化しており1台を補充する。実習用機材として必須であり生物ラポ及び化学ラポの共用としてポットプレート付を計画し通常型(4.6)と攪拌用の磁石片(4.61)を同一のアイテムとしてまとめ、	
4.6	電気誘導器	2	台	化学・生物の全コース								○	○	2		上記4.5に含める。	
4.61	磁石片	10	個	化学・生物の全コース								○	○	10		同上	
4.7	攪拌用水槽	2	台	化学・生物の全コース		1		1				○	○	2		生物ラポ及び化学ラポ用として必要な機材。使用可能な既存のものが1台あるが老朽化しており更新の対象とし、1台を補充機材として計2台を計画する。	
4.8	卓上型遠心分離器	2	台	化学・生物の全コース								○	○	2		実習用機材として必須であり卓上型のシンプレックスなものを生物ラポ及び化学ラポ用として各1台、計2台、及び付属品として遠心器用の試験管をそれぞれ100本を計画する。	
4.9	ユニバーサル冷却遠心分離器、スイングローター付	1	台	化学・生物の全コース								○	○	1		化学・生物の全課程共用の実習機材として基本的なレベルの機材を1台計画する。下記アイテム4.91のスイングローター50ml試験管及び4.92のローター、50ml試験管を本体に付属品として含める。	
4.91	ローター及び50ml試験管	1	個	化学・生物の全コース								○	○	1		本体用の付属品として使用	
4.92	ローター及び150ml試験管	1	個	化学・生物の全コース								○	○	1		本体用の付属品として使用	

番号	機材名	原価 数量	単位	コース名	既存機材の現状			要請機材の分類			使用目的	必要性	妥当性	判定	計画数量			機材内容
					A	B	C	A	B	C					A	B	C	
4.10	蒸留水精製器、脱イオン化付	2	台	化学・生物の全コース		1	1	1	1	1	1	0	0	0	2	0	2	既存の装置が1台あるがヒーターの断線、箱体部分の腐食で使用不能である。実習用精製水採取機材として必須であり生物ラボ及び化学ラボ用として計2台を計画する。
4.11	凍結乾燥装置	1	台	化学・生物の全コース								0	0	0	1	0	1	化学、生物の全課程共用で、高度な機能を有しないシンブルな機材1台を計画する。
4.12	加温用マントル、耐火型	2	台	生物学、化学コース		1	1	1	1	1	1	0	0	0	2	0	2	老朽化した既存機材が1台あるがヒーターが断線し修理不能。実習用機材として必須であり生物ラボ及び化学ラボ用として計2台を計画する。
4.13	恒温槽	2	台	生物学、化学コース		1	1	1	1	1	1	0	0	0	2	0	2	実習用・実験用機材として不可欠な機材であり、卓上型のものを生物ラボ及び化学ラボ用として2台を計画する。
4.14	ラボ用電気高圧炉	1	台	理科学								0	0	0	1	0	1	化学、生物の全課程共用として常用温度200℃程度の機材1台を計画する。
4.15	オーブン	1	台	理科学								0	0	0	1	0	1	既存のものでは老朽化しヒーター断線の為使用不能。化学、生物ラボ共用で既定温度250℃程度の機材1台を計画する。
4.16	冷蔵庫	2	台	全化学課程、生物学コース		2	2	2	2	2	2	0	0	0	2	0	2	基礎的実習用機材として生物ラボ及び化学ラボ用に要請機材としてそれぞれ1台を計画する。
4.17	冷凍庫	1	台	全化学課程、生物学コース								0	0	0	1	0	1	基礎的実習用機材として生物ラボ及び化学ラボ共用として1台を計画する。
4.18	マイクローム、ロータリー式	1	台	植物学入門、生物学I,II,III,応用生物学コース								0	0	0	1	0	1	基礎的実習用機材として、各ラボで共用する。マイクローム用をアークセザリーに入れ1台を計画する。
4.19	パラフィン包埋装置	1	台	植物学入門、生物学I,II,III,応用生物学コース								0	0	0	1	0	1	基礎的実習用機材として、各ラボで共用する。固形パラフィン100gをアークセザリーに入れ1台を計画する。
5	5. 共用安全用具																	
5.1	粉塵マスク、使い捨てタイプ	300	個	生物学、化学、生理学、微生物学、遺伝学及び組織学等の全コース								0	0	0	300	0	300	化学物質の吸引、粉塵等から保護する為の使い捨てマスクとして1コ-30人として10コース分の計300個を計画する。
5.2	防護鏡	20	個	生物学、化学、生理学、微生物学、遺伝学及び組織学等の全コース								0	0	0	20	0	20	岩石、固形物等から保護する為のマスクとして全コースの共用として計20個を計画する。
5.3	安全メガネ	60	個	生物学、化学、生理学、微生物学、遺伝学及び組織学等の全コース								0	0	0	60	0	60	化学物質、粉塵等から目を保護する為のメガネとして1コ-30人として2コース分の計60個を計画する。
5.4	ラボ用着衣	60	着	生物学、化学、生理学、微生物学、遺伝学及び組織学等の全コース								0	0	0	60	0	60	実験・実習時のラボ用ラテックス薄手袋として白色のもの1コ-30人分として2コース分の計60着を計画する。
5.5	手袋、使い捨てタイプ	300	組	生物学、化学、生理学、微生物学、遺伝学及び組織学等の全コース								0	0	0	300	0	300	実験・実習時のラボ用ラテックス薄手袋を1コ-30人分として10コース分の計300組を計画する。
5.6	皮手袋	20	組	生物学、化学、生理学、微生物学、遺伝学及び組織学等の全コース								0	0	0	20	0	20	実験・実習時のラボ用皮製手袋を共用で計20組を計画する。
5.7	ゴム手袋	20	組	生物学、化学、生理学、微生物学、遺伝学及び組織学等の全コース								0	0	0	20	0	20	実験・実習時のラボ用ゴム製手袋を共用で計20組を計画する。
5.8	ラボ用緊急処置チャート	3	個	生物学、化学、生理学、微生物学、遺伝学及び組織学等の全コース								0	0	0	3	0	3	実験室に常備して実習生に対する緊急時の啓蒙書論を高めるのに必要で化学ラボ2枚、生物ラボ1枚の計3枚を計画する。
6	6. 化学分析装置(化学-農業用)																	
6.1	蛍光検計	1	台	全化学課程、生物学課程及び農業教育学部の土壌、植物、動物学副課程								0	0	0	1	0	1	分析サンプル中の金属元素 (Na, K, Li 等) の分析に必要であり全学共用の機材として1台を計画する。
6.2	ガスクロマトグラフ	1	台	全化学課程、生物学コース (SB10 101, SB10 392)								0	0	0	1	0	1	全学共用の要請・実習用機材として、バックカラム・溶剤方式でカラム・オーブン・エアタイプ・検出器として検出検出器(CD Detector)付でヘリウムガス用空弁、運転に必要な付属品一式を計画する。
7	7. 解剖器具(生物-農業用)																	
7.1	解剖器具セット	60	式	植物学入門コースI,II,III,植物学、生理学コース								0	0	0	60	0	60	解剖実習用として1コ-30人として2コース分の計60セットを計画。アイテム7.2 から7.8の器具類をまとめて同一アイテムに入れる。
7.2	解剖台	60	台	植物学入門コースI,II,III,植物学、生理学コース								0	0	0	60	0	60	上記7.1に含める。
7.3	解剖用メス、使い捨て5付	100	個	植物学入門コースI,II,III,植物学、生理学コース								0	0	0	100	0	100	同上
7.4	汎用解剖鉗	10	個	植物学入門コースI,II,III,植物学、生理学コース								0	0	0	10	0	10	同上
7.5	外科用鉗	10	個	植物学入門コースI,II,III,植物学、生理学コース								0	0	0	10	0	10	同上

番号	機材名	数量	単位	コース名	既存機材の現状			新規機材の分類			使用目的	必要性	判定	計画数量			機材内容
					A	B	C	更新	補充	新規				A	B	C	
7.6	不妊手術用メス	10	個	生物学入門コースⅠ,Ⅱ,Ⅲ,植物学,生理学コース				10			動物・家畜用として不妊手術の実習用	○	○	10	同上		
7.7	ステンレス鉗鉗子	10	個	生物学入門コースⅠ,Ⅱ,Ⅲ,植物学,生理学コース				10			検体の解剖実習用	○	○	10	同上		
7.8	解剖用縫い針	10	個	生物学入門コースⅠ,Ⅱ,Ⅲ,植物学,生理学コース				10			同上	○	○	10	同上		
8	顕微鏡・光学機器(生物・農業用)																
8.1	顕微鏡	25	台	生物学入門コースⅠ,Ⅱ,Ⅲ,植物学,生理学,環境学コース	30				25		検体標本スライドの観察・実習用	○	○	25		実習用顕微鏡機材として不可欠であり、既存の劣化したもの更新用として生物ラボ及び化学ラボで共用する。計25台を計画する。	
8.2	解剖顕微鏡	15	台	生物学入門コースⅠ,Ⅱ,Ⅲ,植物学,生理学,微生物学,環境学コース	18				15		同上	○	△	7	8	解剖実習用機材として既存品に単眼・光源ランプが内蔵されていない旧型のものが計18台あり、稼働中である事から双筒タイプの光源内蔵型のものを生物ラボ及び化学ラボとして計7台を更新機材として計画する。	
8.3	ルーペ	50	個	生物学入門コースⅠ,Ⅱ,Ⅲ,植物学,生理学,微生物学,環境学コース					50		検体標本スライドの直視観察・実習用	○	○	50		実習用機材として必須であり、従来、×10程度のものを生物ラボ及び化学ラボ用として各々25個、計50個を計画する。	
8.4	倒立型顕微鏡	1	台	生物学入門コースⅠ,Ⅱ,Ⅲ,植物学,生理学,微生物学,環境学コース					1		検体の観察・実習用	×	×	1		組織培養のカリキュラムが変更により不要となったので除外する。	
8.5	位相差顕微鏡子レド装置付	1	台	生物学入門コースⅠ,Ⅱ,Ⅲ,植物学,生理学,微生物学,環境学コース					1		作成した生物学的標本が、直視テレビ画面に映し出されるように使用	○	○	1		既存のPCやテレビモニターに接続できるタイプの機材で、OCDカメラを付属したものを生物ラボ及び化学ラボ共用として1台計画する。	
8.6	顕微鏡格納キャビネット、防湿型	2	台	生物学入門コースⅠ,Ⅱ,Ⅲ,植物学,生理学,微生物学,環境学コース					2		双筒顕微鏡及び解剖顕微鏡の保管用	○	○	2		木製のキャビネットタイプで防湿型のものを生物ラボ及び化学ラボ共用として2台計画する。	
9	微生物、組織培養用機材(生物用)																
9.1	滅菌器	1	台	生物学,化学,微生物学及び組織学コース	1				1		微生物、細菌等の培養に使用したガラス器具、機材の滅菌に使用	○	○	1		実習用機材として必須であり、小型の500ml程度のものを生物ラボ及び化学ラボ共用として1台を計画する。	
9.2	組織培養器具	1	台	微生物学及び組織学コース					1		微生物、細菌等の培養に使用	×	×	1		組織培養のカリキュラムが変更により不要となったので除外する。	
9.3	紫外線殺菌灯	1	式	微生物学及び組織学コース					1		実験室内の滅菌に使用	○	○	1		組織培養用機材として必須であり、50ワット程度の殺菌灯を生物ラボ及び化学ラボ共用として1台を計画する。	
9.4	紫外線照射ランプ	1	個	微生物学及び組織学コース					1		サンプリングの蛍光テストに使用	○	○	1		実験・実習用機材として必要であり、15ワット程度の短波長のハンドル付ランプを生物ラボ及び化学ラボ共用として1台を計画する。	
9.5	超音波細胞破砕器	1	台	微生物学及び組織学コース					1		超音波を使用して生体組織の粉砕、組織を砕き、サンプルを作成するに使用	○	○	1		実験機材として必要で、250W程度の超音波を発生できるものを生物ラボ及び化学ラボ共用として1台を計画する。	
9.6	クリーンベンチ	1	台	微生物学及び組織学コース					1		微生物及び細菌等の培養を新鮮な空気を遮断しながら実験・実習するのに使用	○	○	1		実験機材として必要で、ラボテーブルに置く小型のものを生物ラボ及び化学ラボ共用として1台を計画する。	
10	学習教材(生物・農業用)																
10.1	教材用スライド、植物学	1	組	植物学,1年コース					1		植物学における1年課程用スライドで教材に使用	○	○	1		1年課程の基本教材である。要購リストはそれぞれアイテム毎に記載されているのでこれをひとつのアイテムに含まれ、10.1として10.2より10.10を別除する。	
10.2	教材用スライド、生態学	1	組	生態学,1年コース					1		生態学における1年課程用スライドで教材に使用	○	○	1		上記10.1に含める。	
10.3	教材用スライド、生物進化学	1	組	生物進化学,1年コース					1		生物進化学における1年課程用スライドで教材に使用	○	○	1		同上	
10.4	教材用スライド、動物学	1	組	動物学,1年コース					1		動物学における1年課程用スライドで教材に使用	○	○	1		同上	
10.5	教材用ビデオテープ、動物生態学	1	組	動物生態学コース					1		動物生態学における1年課程用ビデオテープで教材に使用	○	○	1		同上	
10.6	教材用ビデオテープ、植物学	1	組	植物学,1年コース					1		植物学における1年課程用ビデオテープで教材に使用	○	○	1		同上	
10.7	教材用ビデオテープ、生態学	1	組	生態学,1年コース					1		生態学における1年課程用ビデオテープで教材に使用	○	○	1		同上	
10.8	教材用ビデオテープ、自然環境学	1	組	自然環境学,1年コース					1		自然環境学における1年課程用ビデオテープで教材に使用	○	○	1		同上	
10.9	教材用ビデオテープ、生物進化学	1	組	生物進化学,1年コース					1		生物進化学における1年課程用ビデオテープで教材に使用	○	○	1		同上	
10.10	教材用ビデオテープ、動物学	1	組	動物学,1年コース					1		動物学における1年課程用ビデオテープで教材に使用	○	○	1		同上	
10.11	顕微鏡用スライドセット、植物学入門、植物学全般、その他	1	組	植物学入門、植物学全般コース					1		植物学における全課程用顕微鏡用スライドで顕微鏡で観察使用する	○	○	1		同上	
10.12	顕微鏡用スライドセット、植物細胞学、組織学、その他	1	組	植物学全課程、植物細胞学コース					1		植物細胞学等における全課程用顕微鏡用スライドで顕微鏡で観察使用する	○	○	1		同上	